

おすすめのこどもの本

- 2024年11月から2025年10月に出版された本の中から、特におすすめする本を選びました。子どもの本に関わる大人の方へ向けて紹介しています。
- 本の情報は、書名、著者名、出版社名、図書館での分類記号、対象年齢を記載しています。



↑図書検索は
コチラから！

2026年4月発行 発行者:枚方市立中央図書館
電話:050-7105-8121 FAX:072-851-0962

あっぱれ！われらのてんぐさま

オノガワ アサコ／作・絵 フレーベル館

エホンーオノ 【小学校低・中学年】



てんぐさまの鼻の先に「おでき」ができました。こてんぐたちは、てんぐさまが眠っているうちに、うちわで鼻を伸ばして、お医者さまにみてもらうことにしました。鼻はうなぎ屋のにおいに立ち止まったり、お酒のにおいに酔っぱらったりしながら、お医者さまのところへたどりつきます。

長く伸びる赤い鼻と、こてんぐたちの奮闘ぶりが楽しい絵本です。

ポケットたくさんワンピース

リリー・ムーレイ／作 ジェニー・ラブリー／絵

堀越 英美／訳 偕成社

エホンーラフ 【小学校低・中学年】



ルーシーは誕生日に、おばさんといっしょにワンピースを買いに出かけます。お店でいろんなワンピースを着てみましたが、「お気に入り」が見つかりません。ルーシーは、ポケットがたくさんあるワンピースがほしかったのです。

好奇心いっぱいのルーシーが魅力的に描かれた絵本です。

くだもの らららん

金内 織恵／作 童心社

エホンーキイローカネ 【幼児】



日頃から目にするくだものがでできます。収穫して、皮をむいたり、切ってみたり、どれも美味しそうです。繊細でリアルに描かれていて、思わず手を伸ばしてさわりたいくなります。たわわに実る様子や食べる音の繰り返しも楽しい絵本です。

じっくり味わってみてください。

たいこどんどん

三浦 太郎／作 ブロンズ新社

エホンーキイローミウ 【幼児】



一人のこどもが太鼓を打つ音から始まります。ページを開くごとに、ラッパ、笛と楽器の音が重なっていき、次は何が出てくるだろうか、と想像力を引き立てます。

こどもを先頭にそれまで出てきた人や動物たちが楽器を鳴らしながら行進して、全てがつながる観音開きのページも見どころです。

勇士アフマド

イランのむかしばなし

愛甲 恵子／文 網代 幸介／絵 BL 出版

エホーンミドリアーシ 【小学校中・高学年】



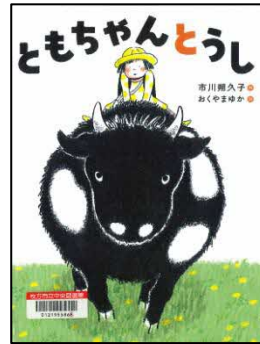
アフマドというお調子者が、冗談半分で鍛冶屋に刻んでもらった言葉をきっかけに、本物の「勇士」として祭り上げられていくイランの昔話です。噂を聞いた王様に目をかけられ、戦場へと出ましたが、力や武勇ではなく、偶然によって勝利をおさめます。

噂話が人を動かし、現実を変えてしまう面白さが描かれています。

ともちゃんとうし

市川 朔久子／作 おくやま ゆか／絵

岩崎書店 エホーンオーク 【小学校低学年】



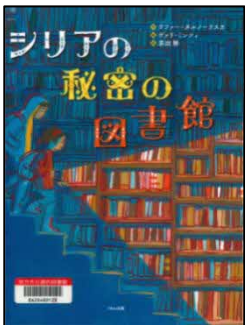
ともちゃんが、学校に行きたくないと言きながら歩いていると、大きなうしが道の真ん中に座り込んでいました。ともちゃんは、うしと目が合い、背中に乗ります。うしはものすごくゆっくりと歩きだします。

ともちゃんとうしのモヤモヤした気持ちが最後には晴れて満足のいく絵本です。

シリアの秘密の図書館

ワファー・タルノーフスカ／作 ヴァリ・ミンツィ／絵

原田 勝／訳 くもん出版 エホーンミン 【小学校中・高学年】



戦争下のダマスカスに住む女の子ヌールは、いとこたちと「秘密結社」を結成します。がれきの中から拾った図書を壊れたビルの地下室に持ち込み、地下図書館「アル＝ファジュール」を作りました。この図書館は、やがて多くの子どもたちの希望へと繋がっていきます。

シリアで起こった事実を題材にした絵本です。

山の学校 キツネのとしよいいん

葦原 かも／さく 高橋 和枝／え 講談社

ヤサシイーアシ 【小学校低学年】



山の麓にある小さな小学校の図書室に、リンというキツネの子どもがやって来ました。仲良しの小鳥の声に似た「ピッ」という音がする機械で、バーコードを読み込んでみたいと思ったのです。司書のかえでさんの提案で、リンは図書委員に挑戦します。

リンと子どもたちの穏やかな時間を柔らかく描いた、心がほっとほどける一冊です。

あおのいえ

いとう みく／作 丸山 ゆき／絵 童心社

ヤサシイーイト 【小学校低・中学年】



小学1年生のあおくんは、なおくん、しずさんの3人家族。あおくんは、捨てられていた猫を家で飼うことを許してもらいます。ある日、クラスメイトとそのお姉さんが猫を見に来て、「あおくんちって、なんかふくぞつだね」と言われます。

「みんなとちがうっていけないことなの？」と考えるあおくんを優しく、温かい挿絵とともに描きます。

漢字探偵団

漢字パズルで怪盗と対決！

福田 卓郎／著 うつけ／絵 朝日新聞出版

Fーク 【小学校中・高学年】



春夏冬 漢斗(あきなし あやと)は、漢字が大好きな転校生のメロディ・タンから漢字クラブを作ろうと誘われます。断っていた漢斗でしたが、町に怪盗百目鬼(どうめき)が残した謎の漢字パズルが現れ、メロディ達と一緒に謎解きをすることになりました。

漢字の知識を活用しながら怪盗の正体に迫る物語です。

ミクとオレらの秘密基地

真栄田 ウメ／作

岩崎書店 **F-マエ**【小学校高学年】



11歳のオレたちの住む田舎町の小学校に、笑わない転校生ミクがやってきました。オレたちは、ミクを笑わせたいと声をかけます。やがて、秘密基地に招待し、秘密を共有することで友達へと変わっていきます。

ささやかだけれどかけがえのない、ミクとオレたちの交流が、瑞々しい文章で描かれている物語です。

君のせいだ、涙がでるのは。

林 けんじろう／著 小森 夏海／絵

くもん出版 **F-ハヤ**【小学校高学年】



小学6年生の天宇(たう)は、広島の祖母の葬儀後、祖父の生家で一冊のノートを見つけました。天宇は近くの滝で見知らぬ女性と出会い、ノートを読むことにします。それは、祖父が中学生の頃に広島原爆投下前後のことを書いた手記でした。

人々の日常も夢も希望も奪った原爆の悲惨さを現代の若い人たちに伝える作品です。

おばあちゃんのあかね色

楠 章子／作 あわい／絵 佼成出版社

F-クス【小学校中学年】



小学生の杏(あん)は認知症の祖母と一緒に住むことになりました。同じことを繰り返し尋ねるなど、ちぐはぐな祖母の行動に戸惑う杏や家族でしたが、祖母の好きな色のスカーフを祖母に巻いてみるなど、しだいに前向きになっていきます。

家族の思いが優しく伝わり、認知症や高齢者との向き合い方も考えさせられます。

コメディ・クイーン

イエニー・ヤーゲルフェルト／作 ヘレンハルメ美穂／訳

岩波書店 **N-ヤケ**【小学校高学年】



12歳のサーシャは、自殺で亡くなったママと反対のことをしようと決めました。長い髪を短くして、大好きな本を読むのもやめ、みんなを泣かせないようにコメディ・クイーンになることを目標にします。傷ついた心を表に出せないサーシャは、少しずつ過去のママと向き合っていきます。

大切な人を失った少女の物語を、ユーモアを交えて描いた作品です。

トッケビ梅雨時商店街

ユ ヨンガン／著 岩井 理子／訳 静山社

N-ユ【小学校高学年～中学生以上】



貧しい暮らしに嫌気がさしていた少女セリンは、不幸と幸福を取り換えることができるという金色のチケットを手に入れて、韓国の妖怪・トッケビの商店街へやってきます。セリンはトッケビたちから望んだ未来の人生の体験ができるというクスル(玉)を得て、本当の望みを探します。伏線も楽しい韓国ファンタジーです。

煙のように消えるねこ

リンダ・ニューベリー／作 田中 薫子／訳

丹地 陽子／絵 徳間書店 **N-ニコ**【小学校中・高学年】



古い家に引っ越してきたサイモンは、隣家の裏庭で草花を人の名前でおばあさんを見かけます。ある晩は、庭でおばあさんと戯れるたくさんのねこを見かけます。しかし、1匹だけは、名前を呼ばれてもおばあさんに近寄らず、煙のように消えてしまいました。

おばあさんと煙のように消えるねこの物語にあたたかな余韻が残ります。

シロナガスクジラ

加藤 秀弘／ぶん 大片 忠明／え 福音館書店

チシキ 489 【小学校低・中学年】



地球史上最大の動物、シロナガスクジラの生態を迫力のある絵で描いた科学絵本です。シロナガスクジラは、北の海から長い旅をして、餌の無い南の海で半年ほど出産・子育てをします。そして再び、親子で北の海へ旅をします。

シャチの群れから子どもを守り、冷たい海まで来ると子別れる母クジラの奮闘ぶりが、美しい自然描写と共に心に残ります。

てんとうむしみつけた

岡島 秀治／ぶん 稲田 務／え 福音館書店

チシキ 486 【幼児】



あちこちで見かけるてんとうむし。「なみてんとう」という種類のてんとうむしの模様を見て楽しむことができる絵本です。同じ種類でも、模様の色・形、大きさが違ったり、人の顔に見えたりします。

「なみてんとう」がたくさん並んでいるページには、ひとつだけ種類の違う「ななほしてんとう」が隠れています。

パワーショベル！

鎌田 歩／さく 福音館書店

チシキ 537 【幼児】



パワーショベルが、エンジンをうならせ、腕を振り上げ、古い建物をバキバキと壊します。長い腕の先についているのは恐竜のあごに似た「グラップル」。次に、固いコンクリートを壊すために、パワーショベルの腕の先を別のものに付け替えます。

建物が更地になる過程がよくわかり、とても臨場感がある知識絵本です。

地理学者シリアへ行く

小口 高／文 山本 美希／絵 アリス館

227 【小学校中学年～中学生以上】



地理学者になったばかりのぼくは、大昔にネアンデルタール人が住んでいた痕跡が見つかったシリアの砂漠の洞窟へ調査に赴きました。日本と全く違った環境の中で、ぼくが得たのは調査の成果だけでなく、現地の人とのふれあいなどかけがえのないものでした。

地理学の専門的な知識や旅の様子などが親しみやすい絵で描かれています。

ずかん石積み

真田 純子／監修 ニシ工芸石積み研究会／著

技術評論社 524 【小学校高学年】



石積みとは、石を積んでつくる最古の建築技法です。身の回りの石を上手く積むと、棚田や小屋、橋などを作ることができ、正しく積まれた石積みは数百年もつとされています。壊れても、直すことができるため、近年はエコな技術として再注目されています。

後世へ残したい石積みの文化や技術、面白さを伝えてくれる一冊です。

ゆびでたどる進化のえほん

三上 智之／監修・文 かわさき しゅんいち／絵

KADOKAWA 467 【小学校中・高学年】



約40億年前の生命のはじまりから、わたしたち人間の誕生までを、樹木のような形の図であらわした「系統樹」をもとに、指でたどることができます。

環境の変化などで枝分かれた「道」を最新の研究でわかりやすく伝えており、進化のおもしろさ、不思議さを感じることができる科学絵本です。